



- ① 連続するクラスに関しては、より初歩的なクラスから先に番号を付ける。
- ② 他のクラスよりも初歩的で、他のクラスを取る前に履修することが望ましいクラスから先に番号をふる。
- ③ クラスのレベルは、100番台の番号でのみ変化するとし、同じ100番台のクラス同士でのレベルは同等と見なす（ERE 225とERE286とでは、レベルの差は無いものとする）。
- ④ 関連づけられているクラス同士には、連続する番号を使用する（例えば、ERE 126とERE 127を、英語講読演習Ⅰと英語講読演習Ⅱに使うなど）。
- ⑤ 200番台以上のクラスに関しては、先に履修すべきクラスが具体的に設定されていないとしても、より高い年次もしくは、それ相当のレベルを有していることが条件となる。
- ⑥ その時の自らのレベルに合ったクラスを履修することが望ましい。高い年次の学生が、低いレベルのクラスを履修する事は、なるべく避けるべきである。

キリスト教	CHR	情報コミュニケーション	CMS
オキナワン・スタディーズ	OKS	第二外国語	SLA
Global Studies	GLS	インターナショナルビジネス	BUS
人間総合科学	SSS	English Communication	EOC
英語講読演習	ERE	英文法・英作文	EWR
Advanced Communication	AOC	Advanced Reading	ARE
高等英文法	AWR	英語学	ENG
英米文学	LIT	通訳・翻訳	INT
国際関係	GRE	コミュニケーション	COM
学科必修	THE	教職科目	TTC